

公衆衛生看護対象論演習 目標到達度

	達成できた	ほぼ達成できた	不十分な達成	達成できたとはいえない
1. 人々をライフステージの発達課題や地域特性に応じてとらえ、支援計画を立案することができる。(A-1)	発達課題や地域特性を的確に把握し、ニーズにそった支援を計画し展開することができる。また、対象者の反応に合わせて適切に支援方針を修正することができる。	発達課題や地域特性を的確に把握し、ニーズにそった支援計画を立案できる。	発達課題や地域特性については把握できるが、ニーズにそった支援計画を立案するには助言を要する。	発達課題や特性についての把握が不十分であり、ニーズにそった支援計画を立案できない。
2. ヘルスプロモーションの理論について、実践場面で説明することができる(A-1)	ヘルスプロモーションの理論について理解し、理論的な知識を演習場面で意図的に活用することができる。	ヘルスプロモーションの理論について理解し、理論的な知識を演習場面で概ね活用することができる。	ヘルスプロモーションの理論について一部理解しているが、理論的な知識を演習場面で活用するには助言を要する。	ヘルスプロモーションの理論について理解できておらず、理論的な知識を演習場面で試みることができない
3. 対象理解と共に健康課題別の地域ケアのあり方について考察できる(A-1)	地域特性や文化的背景を考慮し、地域コミュニティのニーズや資源を的確に把握し、個から集団の健康課題として捉えて、地域ケアのあり方、仕組みづくりについて考察できる。	地域特性や文化的背景、地域コミュニティのニーズや資源に着目し、個の支援をとおして、集団への支援を考察し、地域ケアに何が必要か考察することができる。	地域特性や文化的背景、地域コミュニティのニーズや資源に着目し、個の支援を計画することはできるが、個の健康課題から集団への支援および地域ケアの視点で考察するには、助言を要する。	個の支援を計画することはできるが、個の健康課題から集団、地域ケアという視点で健康課題をとらえることができない